

平成22年1月(2010年) No.529

新年のごあいさつ

今年も皆さん、元気で明るく過ごしましょう

会長 合原一夫

あけましておめでとうございます。皆さんご壮健にて新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は政権交替とかで政治の世界は大きく変わりましたが、不景気の風はますます激しくなり、パッとしない世の中が続いています。わが映像界は従前以上に明るく活動しています。SD映像がすっかりHDV化しました。こ難しい編集技術もうまくこなして、毎月の例会にはたくさんのハイビジョン作品が出品されています。毎月の例会ではほぼ満席の28.1人の出席者と15.6本の作品が出品されました。11月例会では3本の作品が次月まわしとなりました。12月例会では何と33名の出席者があり近年にない大盛会でした。こした例会の盛況ぶりを見ていますと、世の中そんなに景気が悪いのかなあ、などと思ってしまう。私も後期高齢者の類となり振り返って色々ありましたが、良い時期を過ごしてきたのだなあ感慨深いものがあります。これからもあまり暗いことは考えず、生きている限りは楽しく張り合いのある今日明日を目指して活動していきたいと、新年にあたりまして祈念するものであります。皆さん、今年も頑張ってお楽しみを楽しまし、本年もどうぞよろしくお祝い申し上げます。

今年の撮影会は5月に大井川鉄道あたりで企画

恒例の一泊撮影会は、12月末に行われた世話役会で、5月第3土曜日曜日に大井川鉄道とその辺りの温泉地で一泊というのは如何でしょうか、との話が出ましたので、これから関さんを中心に企画をまとめたいと思います。

1月例会と総会及び新年会のお知らせ

1月例会は通常と異なり第3日曜日17日13時からとなりますので、お間違えなき様ご注意ください。場所はいつもの通りJR難波駅上OCATビル4階学習センターです。例会終了後、総会を行います。年度賞はその場で発表となります。新年会は17時より5階のレストランです。

昨年(2010年)の例会記録

例会を盛り立てていくには、まずは会員さんの出席と作品の出品数。年12回、毎回予定を組んで出席すること、ましてや毎月出品されるということは、大変なご努力があったものと敬意を表します。

■全例会出席者：有村、井上、江村、紙本、黒田、錦、前田、増池、宮井、安居、吉岡の11氏。

◎11回出席者：河合、合原、進藤、関、華岡、藤原、宮崎の7氏。

■全例会出品者：井上、江村、紙本、前田、宮井の5氏。

◎11本出品者：有村、増池の2氏。

この5年間の例会記録

| 年度 | 会員 | 1例会あたり | | 年間作品 |
|----|----|--------|------|------|
| | | 出席数 | 作品数 | |
| 17 | 41 | 28.8 | 14.9 | 179本 |
| 18 | 41 | 27.4 | 14.5 | 174 |
| 19 | 38 | 28.6 | 15.0 | 197 |
| 20 | 40 | 26.5 | 16.4 | 207 |
| 21 | 40 | 28.1 | 15.6 | 197 |

注) 撮影会作品を含む。但し1例会あたりの平均値には含まず。

■テープ方式の推移(百分率)

| 年度 | 4:3 | ワイド | HDV |
|----|-------|-------|-------|
| 17 | 65.4% | 22.3% | 12.3% |
| 18 | 28.7 | 27.0 | 44.3 |
| 19 | 15.2 | 14.2 | 70.6 |
| 20 | 12.1 | 11.1 | 76.8 |
| 21 | 3.7 | 11.8 | 84.5 |

この5年間ですっかりハイビジョン化が進んだことをデータは示しています。今ではSDの4:3は数%以下になりました。

■第26回日本を縦断する映像発表は2月7日(日曜日)12時より(開場は11時半)開催。今回はOMCから吉岡、関、黒田の3氏が出品されています。ぜひご来場ください。

12月例会レポート

12月も押し詰まった26日、今年最後の例会を迎えました。皆さん、暮で何かとお忙しい時期なのに、何と33名という近年にない大勢の方が出席されて盛会でし

た。

今月の司会は安居氏、書記、合原氏、上映担当、増池、河合、江村の3氏。受付兼照明係は宮崎、紙本の両氏の担当で会を進行しました。

出席者：天草、有村、井上、上田、江村、蟹江、岡本、上総、紙本、河合、河口、黒田、合原、進藤、関、田中、玉井、西井、錦、西村、華岡、藤原、前田、増池、宮崎、森口、森下、安居、山本、吉岡、渡辺、岩井、宮井の33氏。

■上映作品(今月の講評は合原会長)

1. 回天特別攻撃隊を悼む(前編)(W)

紙本 勝さん 12分55秒

12月8日は、かつて太平洋戦争が始まった日。12月例会に相応しいと思いこの作品を持参された由。若い頃、作者の同期も特攻隊として徳島航空隊で猛訓練にはげんでいたという話で、人間性否定の特攻作戦を想い描いています。よくもあちこち行かれて資料を集め撮影されたものと感心いたします。胸を打たれる作品でした。後編が楽しみです。

2. 鞍馬の火祭、担ぐぞ松明(W)

森口吉正さん 10分00秒

鞍馬の由岐神社の例祭、狭きところに人が多くて撮影も大変だった由。夕暮れどき各家の玄関先に松明が横たわっています。

陽が暮れると一斉にかがり火が焚かれ、たちまち煙が街道ををけぶらせます。まず子供松明がやってきて、引き続きサイレイヤ(祭礼や)サイリウの掛け声と共に大松明が人に担がれてやってきます。作者は人でほとんどカメラ位置を動かさないままよく撮影されています。地方の土地で伝統につちかわれた素朴な火祭り様子がよく描かれていました。ご苦労様でした。

3. 那智大滝(改作)(HDV)

天草 稔さん 5分01秒

10月例会に持って来られた作品で、指摘を受けたところを手直しして持参された由。前回7分29秒あったのを5分に縮められました。大分すっきりしましたが、音のレベルが途中から上がることや、ラストの滝音の大きな現場音がエンドタイトルと共にプツンと切れるところなど、余韻を持

たせるよう少しづつ絞り込んでいく等の工夫が必要かと思えます。

4. 米子の町と城 (HDV)

渡辺雄史さん 7分20秒

渡辺さんは、のぼを痛めておられるのでナレーション原稿をメールでやりとりし、ナレーターに声を入れてもらったということです。観光船に乗って湾内を観光されますがエンジン音が大き過ぎてガイドの説明が聞きづらいのは、ひと工夫必要かと思えます。最後は海拔 90 m の米子城址に登られて市内一望の風景で締めくくられました。作者のおっしゃる「観光ビデオ」としてまずは無難に楽しく纏められています。

5. 教会遺跡を訪ねて (HDV)

山本正夢さん 6分04秒

期待の山本作品。今回はイスラムに遺る教会遺跡です。537 年建立の古い教会の教奇な運命を、映像と字幕で語られ、しばしロマンの世界に浸りました。現在の美しいモザイク画は、オスマン帝国になってモスクに改造されてシックイで塗り込められていたという話には興味をそそられました。

6. 初春えびす舞 (HDV)

吉岡貞夫さん 14分00秒

毎年1月15日に西宮戎神社に奉納されるえびす舞の神事と、西宮商店街へ繰り出して、商売繁盛、家内安全を祈願する行事の記録です。いつもながら吉岡さんしか作れない内容で、西宮神社もいろんなことが年中行われているものだと改めて感じ入りました。阿波木偶箱まわし復活保存会の方々が四国から来られるそうで、伝統の芸能がいつまでも続けていってほしいと願わずにおられません。店先で人形を巧みにあやつり、つづみを打ち鳴らし、節回しよく語る一連の芸能を店の奥から外へ向けて撮られているので、雰囲気がよく伝わってくる、と司会者の声がありました。

7. 近江商人考その2 (HDV)

進藤信男さん 16分12秒

先月作品が多過ぎて上映できなかった作品で、おまたせいたしました。内容はその2とあるように、近江商人の盛んな時代の話を追いかけられた力作となっています。

近江八幡、中山道、安土城等々、歴史に

残るロマンが語られます。最後は近江八幡の左義長まつりで締めくくられます。歴史の好きな作者ならではの作品で、その3で明治以後の近江商人が知りたいと司会者からの願いでしたが、さてその3は、どう展開するのでしょうか。

8. ああ余部のわれらいま (HDV)

前田茂夫さん 11分05秒

作者がよく撮影に出かけておられる余部の小学校の校歌をメインにすえての作品です。トップ画面は稲刈り機での取り入れのシーンで、遠くに余部鉄橋を渡る列車が見えます。そして駅での少なく寂しい乗客と発車風景、次に余部小学校の運動会のシーンに移ります。遠くに鉄橋を渡る列車と万国旗を画面転換に使われていることは関連があつてよいと思いました。運動会後半の子供達の校歌を歌う場面は大変感動的で秀逸でした。できれば、このシーンをラストに持ってきた方がより印象に残ったと思います。その後子供たちが家の庭先で遊ぶ良いカットもあり、最後はトップシーンと同様に稲刈り機と鉄橋の上を轟音を立てて渡る列車の姿で終わります。見終つて、運動会の子供たちの歌う素朴な表情の感動が次第に薄められてしまったのではないかと、そんな思いがいたします。子供たちの遊ぶ姿は運動会の前にすませてしまうか、そして最後の稲刈りのシーンはいらないのではないかと感じます。歌う子供の声にあわせて、遠く鉄橋を渡る列車か、青空あたりで締めくくったら如何でしょうか。

9. ISUコンGRESS2009 (HDV)

井上勝彦さん 9分43秒

オーストリアで行われたISU世界大会に出席されたときの記録です。3D映像なども上映されるそうで、世の中には色んな世界大会があるものだと興味深く拝見しました。将来はめがね無しで立体映像を楽しめる技術が出来るようで、私達映像を楽しむ者には関心の深い大会です。

10. よさこい春宵祭 (HDV)

江村一郎さん 6分12秒

おなじみの”よさこいシリーズ”ですが、今まで街なかが多かったのに対し、今回は白堀(城に近い場所)のところで撮ってお

られます。その白い塀に写った踊る人の影をうまく活かしたカットは、今迄にない印象に残るカットとして、江村さんの「よさこい祭り」も一皮むけたと思いました。

音処理といい、アップとロングをうまく組合わせた編集技術はまさに「江村一郎」さんの世界でした。

1 1. 卑弥呼はいずこ (HDV)

有村 博さん 8分38秒

奈良県桜井市にある、いろんな古墳を自転車で訪ねておられます。いつもながらの健脚ぶりに脱帽です。なかでも最近特に注目されている纏向遺跡の発掘現場での説明会場では、1時間半待ちの人気のところで卑弥呼の建物跡ではないかと言われているそうです。卑弥呼は九州説もあり、いずれ決着がつくか知れませんが、この辺りはまさにロマンの郷ですね。

1 2. 枯葉 (HDV)

宮井 健さん 3分30秒

シャンソンで有名な「枯葉」の歌にあわせて映像づくりをされた作品です。撮影場所は岸和田の中央公園だそうです。こういう曲はムードが大切だと思いますので、人物を出すのならお婆ちゃんのスローモーション等ではなく、若い二人づれとか、可愛い女性とかを登場させてほしかったです。又スローモーションが多すぎるとの司会からのアドバイスがありました。

1 3. 里山の秋 (HDV)

玉井 勻さん 4分43秒

作者の家に比較的近い天津寿長生の郷で撮影された由。わら葺きの屋根、いろいろのある古い家の中、茶室、人形を飾った部屋、そして古池、もみじと、道具立ては一杯。玉井さんの映像の世界にとっぷりと浸った「里山の秋」でした。

1 4. 大阪光のルネサンス&御堂筋

上田吉己さん 11分00秒

中之島を中心に光のイベントに力を入れ出した大阪市。御堂筋のイルミネーションも加わって、今年の大阪光のルネサンスには観光客が昨年倍以上の人气があったそうです。それだけ人出が多かったので良い撮影場所を確保するのに苦労されたのではないかと思います。中之島公会堂、光のイ

ベントに続いて、中之島中央図書館の壁をスクリーンに見立てて、光と音のエンターテイメントは毎年の恒例イベントとはいえ、やはり見事なものです。これを途中でカットすることなく撮影編集したので、つい長くなってしまったと作者の弁。最後は御堂筋のいちよう並木を飾ったイルミネーションを車中から走りながらのカットで終わりました。楽しい作品でした。

1 5. 横浜中華街界限 (HDV)

蟹江利一さん 7分10秒

ソニーのCX520Vのカメラを購入して手持ち撮影されたそうです。確かにこのカメラは手ぶれには強いようです。中華街を店先まわりや商品の近景、看板、華麗な門などが出てきます。ウィークデーだったのででしょうか、人出が少ない雰囲気でした。

BGMとして中国の歌が何曲も出てきて全編歌いっ放しだったのは考えものです。歌詞ビデオのように歌に合わせて映像づくりをするなら、1曲かせいぜい2曲で5分でも長く感じると思います。歌詞の無い局を主に使われてラストに1曲歌ったら如何でしょう。

1 6. 水都大阪2009 (HDV)

錦 務さん 7分02秒

上田さんの「大阪光のルネサンス」と同じ様な大阪のイベント記録です。華やかなジャズのBGMから始まって、やがてそれがピタッと止んで現場音だけの青空マーケット風景、次に再びジャズが…。水上バスや砂細工の子供たち、噴水、やがて夕方になり夕日をあびた大川と超高層ビルのある風景、そして夜になって船に乗られて光で照明された橋や兩岸の夜の風景、中之島公会堂などが出てきます。これだけたくさんのカットを撮影されたこと、大変ご苦労さまでした。BGMの選曲にもう少しご留意を。

以上で丁度9時に例会終了、いつもの様に居酒屋組と喫茶組に別れて2次会に席を移し今年最後の例会の夜を楽しみました。

河合さんの「祭りのネタのお話(第三回)」はスペースの都合で、次回以降に繰り越させていただきます。